

カラー コンサルティング 人とモノのブランディング

『私達は色のシャワーを浴びて暮らしている!』

◆深緑グリーンの世界から空色スカイブルーの世界へ

6月21日の夏至を過ぎると7月7日は二十四節気の小暑（しょうしょ）この頃日本は梅雨明けを迎え、暑さが本格的になり慣れない強烈な太陽の日差しに眼が眩みます。

そして、この日は別名、「笹の節供」や「星まつり」とも言われる七夕です。日本へは奈良時代に中国から遣唐使によって伝わり、宮中行事として取り入れられたのが始まりなのだそう。そして、現在のように短冊に願い事を書いて笹竹に結ぶスタイルになったのは江戸時代になってからだそうです。七夕のお祭りが終わるといよいよ太陽の季節、大暑（たいしょ）7月22日、子供たちは待ちに待った楽しい夏休みを迎えます。

◆さて、5・6月号のカラータイプ®メソッドはいかがでしたか？

皆様の日常に欠かすことが出来無い他者とのコミュニケーション。日本人の特徴の一つでもある「相手を思い遣る」「和の精神」「円滑な人間関係の構築」にきっとお役に立てると思います。

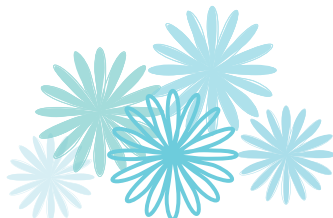
7月は他者との関りから少し視点を変えて御自身の内面と心や体のコミュニケーション=セルフヒーリングのお話です。



山本 邦子

カラーコンサルティング MICHEL 代表
大阪市船場生まれ育ち 奈良在住
本気の夢実現を応援するカラーコンサルタント歴18年
色彩心理をベースにした「カラーコンサルタント」として
企業での研修やシニア大学の講師を務める

- * カラータイプ®協会マスターインストラクター
 - * カラーアナリスト
 - * 心理カウンセラー
 - * 数秘マスター
 - * (公財)日本スポーツ協会公認コーチ2
 - * セミナー・研修講師 / 色彩心理 /
相互理解とコミュニケーション / ブランディング
- 2020年ミスグレート世界大会委員
2020年ミスユニバース奈良代表講師



他者との繋がりや関係性に重きを置くあまり、自身の個性や自己表現を控え、目立つことをためらう、我慢してしまう、自己犠牲して相手に合わせてしまう・・・
「喜怒哀楽」を幼子のようにストレートに表現出来たらどんなに楽か・・・

それらの事でストレスを感じ、眠れなくなったり、食欲が落ちたり、疲労感を感じたりという事ことはありませんか？ HELP ME！お願い！気付いて～気付いて～～！という心と身体の声＝SOSが心や体から発信されている状態ではあるけれど、まだ自覚症状として表に現れていない病気未満の状態、それがいわゆる未病です。本格的な症状が身体に現れる前の未病の状態の時に心と身体の声に気付いて自分で癒し、お手当てしましょうというのがセルフヒーリングです。

私達はお医者様ではありませんが、自分自身をいつもつぶさに見つめ、細かく観察できる最も近い人です。痛い・苦しい・辛いなどの五感の機微を感じられるのも自分のみ。過去から未来へと一生を共にする親友ですから、嘘はつきませんね(笑)

◆では無意識レベルの自身のサインに気が付くにはどうしたらいいのでしょうか？

セルフヒーリングではチャクラと言う理論で説明します。東洋の「氣」、西洋の「オーラ」など、人に見えないエネルギーが存在すると考えはじめたのは、20世紀初頭。インドの伝統医学をもとに、西洋の神智学、生命哲学などが統合されて行きました。

身体の中には目に見える臓器、例えば心臓や肺、胃腸、腎臓などレントゲンで確認できる臓器と目に見えないエネルギー体があります。普通の人には見えないのですがサイキックな特殊能力のある人によると体のほぼ中央にクルクルと高速で回っているものがありそこが外界とのエネルギーの出入り口になっているようで、それぞれ固有の色が付いているそうです。「・・・そうです。」というのは私は見たことがないのですが、見える人からよく話を伺っておりました。そのクルクル回っているのが車輪の様に見える事から古代サンスクリット語で車輪を意味する「チャクラ」という名前が付けられました。東洋医学では、人間の身体は臓器や局所的な部分が寄せ集まったものではなく、「心、精神、霊」が肉体と一体になったものと捉えています。

チャクラは、この目に見えないマインド、スピリッツ、スピリチャルが、肉体とつながったエネルギーの中核部分であり、実際、チャクラがある場所は重要な「ツボ」や「人体の分泌系」が集中する場所でもあります。

来月はこのチャクラと色の関係、簡単なセルフヒーリングについてお話します。どうぞお楽しみに♪

↓↓お問い合わせはこちらからお願いします

